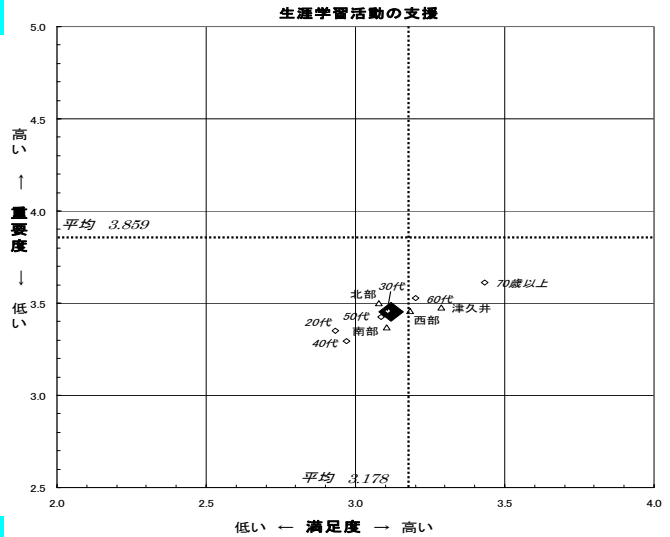




#### 4 市民満足度調査結果(平成20年度実施分)

○この施策の満足度は3.118で121施策の中で70番目。  
 ○重要度は3.452で109番目である。  
 ○改善要望度は-0.2456で101番目である。  
 ○年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、20代で最も低くなっている。重要度は70歳以上で最も高く、40代で最も低くなっている。  
 ○地区別にみると、満足度は津久井で最も高く、北部で最も低くなっている。重要度は北部で最も高く、南部で最も低くなっている。



#### 5 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回(H18)評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 (2) 1	4 (2) 1	・学習相談の目標は達成できた。 ・社会教育関係団体の利用率については、毎年86～87%の間で推移しており、活動率及び団体間交流も現状維持となっている。
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 2 (1)	4 (2) 1	・市民の学習活動へのニーズの多様化が影響したと思われる。
合計		3		評価結果に基づく区分(2項目の合計点数による) A(6点以上) B(5点・4点) C(3点以下)
				1次評価 C

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

#### 6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	・市民の学習ニーズが多様化しており、ニーズに十分対応できていない。 ・社会情勢の変化により、地域の団体活動への意識が希薄化している。また子どもの問題行動や親の子どもに対する虐待などの問題が増加している。
解決策	・市民が生涯にわたり学び続けられるようにするため、市民や団体が学習した成果を活かす仕組みや、自ら学びを提供できるような仕組みを構築する。 ・家族の大切さ、親子のふれあいを実感できるよう、地域社会が一体となって行える事業を展開する。

#### 7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

市民にわかりやすい指標設定を行う必要がある ⇒改善計画書で対応する。	2次評価 C
---------------------------------------	-----------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

#### 8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

◆「講師の稼働率」など施策目的の成果を把握できる指標を設定する必要がある。 ◆課題に対する解決策に具体性がない。具体的方策を検討し記入すること。	3次評価 C
---	-----------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

